

東日本大震災による人口変動への影響(4)

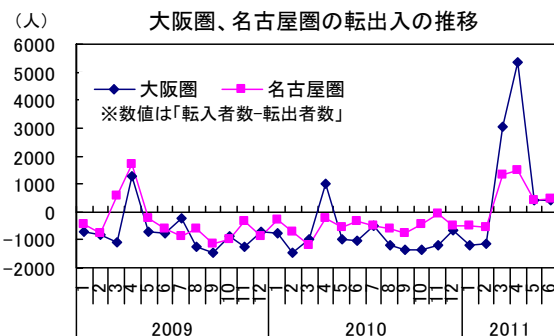
～大阪圏は転入者数の継続的な増加により、4ヶ月連続の純増～

- 先日発表された総務省「住民基本台帳人口移動報告」の6月データをもとに、東日本大震災後の人口変動の傾向についてみてみたい。まず、三大都市圏における転入超過数（転入者数－転出者数）の動きについては、2つの大きな特徴がみられる。まず1つめは、これまで転入超の続いていた東京圏が転出超に転じたことであり、2つめは、大阪圏、名古屋圏の転入超が4ヶ月連続となったことである。
(東京圏：東京、神奈川、埼玉、千葉、名古屋圏：愛知、岐阜、三重、大阪圏：大阪、兵庫、京都、奈良)
- このうち本レポートでは、後者の大阪圏、名古屋圏の転入超に注目したい。6月の転入超の傾向としては、転出が前年よりも減少した一方、転入が増加したことが主な要因となっている。「出て行く人が減り、入ってくる人が増えた」わけであるが、大阪圏では6月も転入の動きは前年比で2けた近い伸びとなっている。
- 大阪圏への転入の動きを地域別にみると、関東からの増加が続いていることが分かる。6月は関西でも節電要請が行われたにもかかわらず、この傾向が途切れなかったことになるが、この背景には間違いなく、本社機能の分散化、システム拠点の分散化があると考えられよう。
- 生産拠点と異なり、本社機能やシステム拠点は安易に海外移転には踏み切りにくく、基本的には国内での分散化が図られる可能性が高い。その中で関西は、各種インフラの充実度、既存拠点の有無、取引先の集積度合いなどで優位性があり、第一候補に挙がるべき地域であるとみられる。
- 依然として、これらの動きはオフィス需給の上では確認しにくいものの、今後も一定の速度で進んでいくものとみられる。

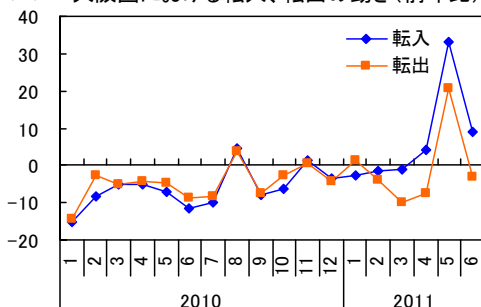
三大都市圏における転入超過数の推移

	2011年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東京圏	2103	1755	41885	19774	3722	-1207
大阪圏	-1181	-1142	3070	5339	397	425
名古屋圏	-522	-561	1307	1472	430	454

(出所)総務省「住民基本台帳人口移動報告」
※転入超過数…転入者数－転出者数



大阪圏における転入、転出の動き(前年比)



大阪圏への転入者数の変化(前年差)

